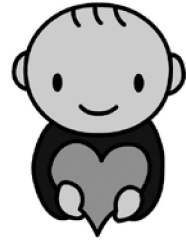


「こころ」ラボレーション

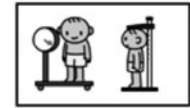


スクールサポーター  
(臨床心理士)  
小林 真理

「発達障害」について、知っているための「こころ」ラボレーションの「アスペルガー症候群」の特徴などに触れてきました。では、私たちはどうしたらいいのか…。今回はこの点について触れていきます。

【アスペルガー症候群】

私たち誰でもそうですが、たとえば「どうしたらいいかわからない」「頑張ろうとしているのに」「そんなこともできないの?」といったニュアンスのことを言われたり、態度で表わされたら、どんな気持ちになるでしょうか。叱咤激励のつもりでも、「言葉から相手の真意を汲み取ることが苦手」という特徴がある場合ならば、さらにどんな気持ちになるでしょうか。



身体測定  
(しんちょうたいしんめいをはかります)

1		ふくをぬぎます
2		ふくをかごにいれます
3		しんちょうけいのにのります
4		「きをつけ」をします
5		しんちょうけいからおります
6		たいじゅうけいのにのります
7		「きをつけ」をします
8		たいじゅうけいからおります
9		ふくをきぎます

と書いていても、アスペルガー症候群の方たちにとっては、ちよつとした解説や説明があることにより、やることのイメージが付き、取り組みやすくなったり、適応しやすくなったりすることがあるのです。私たちはまず、この点について理解することが大切です。

「今は何をするときか」「どうやったらできるか」を彼らのわかりやすい方法で伝えていくこと。それは、「やるべきこと」や「見通し」を絵などを使って知らせたり、手順やスケジュールを視覚的に繰り返し伝えていくこと(左図参照)です。また、「短く」「はっきり」と伝えるなど、ポイントを明確にすることも大切です。要は「結果と目的の経過をイメージできるように伝える」ということですね。

私たちがそれぞれに個性があるのと一緒で、アスペルガー症候群といっても、良い支援を受けたことと違うと伸びる部分もあれば、ゆっくりと伸びる部分があります。私たちに実際何ができるか、ということも大切ですが、まずは誰でも「できるよ」になりたい「わかるよ」になりたいという気持ちがある、ということから理解をはじめてみませんか。そうすることで「そのためにはどうしたら

ことです。もちろん、それぞれの場面や成長段階によって必要な支援内容は変わっていきます。従って専門の人に相談することでタイムリーで継続的なアドバイスを得ていくことも、ひとつの選択肢といえるでしょう。

文 献  
「子どもの精神医学ハンドブック」(株)日本評論社  
「楽々・視覚シンボルで「コミュニケーション」」  
エンパワメント研究所

いいか?」という、それぞれに合った支援につながっていくことでしょう。

今回は「学習障害」についてふれていきます。

大切にしようみんなの人権  
春休み人権アニメ上映会

と き 3月27日(火) 10時～・14時～(2回上映)  
と ころ 中央公民館 1階 講義室  
内 容 「もも子、かえるの歌がきこえるよ。」  
上映時間(80分)  
文部科学省選定 青少年育成国民会議推奨

養護学校教諭の星あかりさんが、実体験をもとに書き下ろした児童書「もも子、ぼくの妹」の長編アニメ版。先天性の障がいがあり、いつも酸素ボンベで呼吸しているもも子は、明るくて負けず嫌い。天真爛漫なもも子と妹を思う兄・力の兄弟愛や力の心の成長を中心に、家族愛と葛藤、健常者と障がいの共生など、人間の生きる喜びと悲しみを感動的に描いている作品です。



兄弟愛と力との成長を共に感動の心がけ

【問い合わせ】 生涯学習係 ☎45-8695

毎月第3日曜日は  
「家庭の日」

進級・進学を控えて、子どもにとって春休みが充実したものになるよう、「早ね、早おき、朝ごはん」で一日のリズムを作り、子どもの成長を家族全員で応援しましょう。